

2017 年 8 月 1 日

社員各位

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会  
会長 繁成 剛

## 2017 年度定時社員総会のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

さて、本協会の 2017 年度定時社員総会を下記の通り開催いたしますので、万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますようお願い申し上げます（この資料を総会当日、必ずご持参下さい）。なお、大変お手数をおかけいたしますが、総会をやむを得ず欠席される場合のみ、同封の「議決権行使書」に議決をご記入いただくか、「委任状」に必要事項をご記入いただき、ご署名又はご記名・ご捺印の上、8 月 17 日（木）必着で同封の返信用封筒を用いて郵送又は F A X にてご返送下さいますようお願い申し上げます。「議決権行使書」と「委任状」を両方ご提出された場合は、「議決権行使書」を優先いたします。

総会に先立ちまして、事前にご質問のある方は、下記の電子メールまたは F A X にて、所属と氏名を明記の上、送信をお願い申し上げます。忌憚のないお考え、ご質問をお願い申し上げます。8 月 17 日到着分まで受付いたします。ご質問に対するお答えは、総会及び協会誌にてお伝えいたします。その際は、質問者の所属と氏名を公開いたしますのでご了承ください。

soukai-q@resja.or.jp

F A X : 0 4 5 - 3 5 3 - 8 3 6 5

質問者の個人情報につきましては、総会及び一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の活動にのみ利用し、外部へ情報提供することはありません。

敬具

記

日時：2017 年 8 月 23 日（水） 11：15 ～ 12：15

場所：神戸国際会議場 第 1 会場（301）（第 32 回リハ工学カンファレンス会場）

兵庫県神戸市中央区港島中町 6-9-1

議案：

- |                             |              |
|-----------------------------|--------------|
| 第 1 号議案 2016 年度事業報告（案）      | （資料 1）       |
| 第 2 号議案 2016 年度決算報告（案）／監査報告 | （資料 2）（資料 3） |
| 第 3 号議案 定款の変更（案）            | （資料 4）       |
| 第 4 号議案 2017 年度事業計画（案）      | （資料 5）       |
| 第 5 号議案 2017 年度予算計画（案）      | （資料 6）       |
| 第 6 号議案 新役員の承認              | （資料 7）       |

以上

【お問い合わせ先・議決権行使書または委任状 返送先】

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 事務局

〒235-0033 神奈川県横浜市磯子区杉田 2-7-20

# 2017 年度定時社員総会 資料集

第1号議案 2016年度事業報告(案)	【資料1】	P1～
第2号議案 2016年度決算報告(案) / 監査報告	【資料2】【資料3】	P10～
第3号議案 定款の変更(案)	【資料4】	P16～
第4号議案 2017年度事業計画(案)	【資料5】	P17～
第5号議案 2017年度予算計画(案)	【資料6】	P24～
第6号議案 新役員の承認	【資料7】	P25

## 第 1 号議案 2016 年度事業報告（案）

## 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2016 年度の経過

2016 年度の事業として、第 31 回リハ工学カンファレンスを 8 月 26 日から 28 日まで高知県立ふくし交流プラザにおいて開催し、262 名の参加者があり、113 演題の発表、公開講座、各 SIG による基礎セミナーをしました。また会期中に高知市内の会場において 30 周年記念イベントを実施し、盛会のうちに終了することができました。福祉機器コンテストは 7 月に一次選考会、8 月に二次選考会を開催し、機器部門 3 件、学生部門 3 件の受賞作を選考しました。受賞作は 10 月 12 日に東京ビッグサイトで開催された国際福祉機器展（H.C.R.2016）において本協会のブースに展示し、同会場で表彰式を行いました。受賞作は西日本国際福祉機器展（P.P.C.2016：北九州市）、リハ工学カンファレンス（高知市）において展示し、多くの関係者の注目を集めました。協会誌は 31 巻 3 号から 32 巻 2 号まで 4 回発行し、32 巻 1 号では福祉機器コンテストの報告書も合わせて会員に発送しました。

分科会・専門委員会関連事業として、SIG 関連では 10SIG の中で乗り物、自助具、特別支援教育、褥そう予防装置の 4SIG について法人内 SIG に移行する手続きを進め、他の 6 SIG については協力関係の覚書を締結しました。災害対策委員会では、熊本地震による被災地の支援活動について計画し、日本財団の助成金を得て、9 月、11 月、3 月と 3 回にわたって複数の委員が益城町の仮設団地を中心に訪問し、現地のボランティアや被災した住民と共に、避難生活に必要な家具を強化段ボールで製作するワークショップを開催しました。5 月 13 日と 14 日には仙台市で第 5 回東日本大震災復興支援リハビリテーション工学講習会を開催し、51 名の参加者を集めました。広報活動としては H.C.R.2016、P.P.C.2016、バリアフリー 2017 等においてブースを設け、本協会の活動を PR すると共に、主催者の主催するイベントに協力いたしました。また 2017 年 5 月から JRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）に正式に加盟が承認され、他関連団体と連携して大規模災害が発生した時に支援活動を実施する予定です。

以上のように今年度も多方面にわたる事業を実施して参りました。従来からの事業は縮小せずに、出費を抑える努力を続けてきましたが、財政面では依然として単年度赤字が出る状況が続いています。今後も本協会を継続及び発展させるため、引き続き会員の皆様のご理解とご協力をお願いする次第です。

会長 繁成 剛

## 1. 社員・会員

## 1-1. 法人社員・会員

2016 年 7 月 1 日 正会員 767 名（うち社員（代議員）94 名）、学生会員 21 名、  
賛助会員数 21 社（61 口）

2017 年 6 月 30 日 正会員 785 名（うち社員（代議員）91 名）、学生会員 28 名、  
賛助会員数 21 社（61 口）

## 2. 事業

本協会の主たる事業は、リハ工学カンファレンスの開催、福祉機器コンテストの実施、協会誌の発行、SIG 活動及び委員会活動である。以下に、各事業の 2016 年度の活動を報告する。

## 2-1. リハ工学カンファレンス関連（担当理事：剣持悟・宮野秀樹）

### 1) 第31回リハ工学カンファレンス in こうちの開催

テーマを「あたりまえの生活を保障する～可能性を広げるテクノロジー～」と題して2016年（平成28年）8月26日（金）～28日（日）、高知県立ふくし交流プラザ（高知市）において白石研二氏（高知県社会福祉協議会 事務局次長）を大会長、下元佳子氏（生き生きサポートセンター うえるば高知代表）を実行委員長として開催した。担当理事も実行委員会（2015年12月11日、2016年3月15日、5月24日、8月9日）に参加し、オプションツアー「車椅子で登る高知城堪能ツアー」の企画、立案にも携わった。特別公開講座としては、「進化発生介助ロボットリハビリテーション学～ロボットを用いた人の動き・発達の研究～」と題して、士別市立病院医師の澤口裕二氏（日本褥瘡学会北海道地方会世話人、アウェアネス介助論著者）にご講演いただき、大盛況であった。情報保障では公開講座で手話通訳を、交通アクセスはノンステップバスの運行や、福祉車両や介護タクシーを手配するなど、高知市内と会場間の移送に配慮した。会員・協賛団体、障害当事者、学生、リハ工学技術者及び研究者、医療専門職、社会福祉・教育・企業関係者が参加した。

当カンファレンスへの参加者数は下表の通り262名であった。海外からの参加者は無かった。

参加種別	協会員	非協会員	学生	当事者	合計
	協賛団体	初回発表者			
第31回（高知）	190名	50名	20名	2名	262名

#### ・研究発表等

- ・演題数：113題（うち、学生セッション5題、国際セッション4題）
- ・口頭発表：22セッション、83演題
- ・インタラクティブセッション：30演題
- ・イブニングセッション（1日目～2日目）
- ・交流セッション（3日目）

#### ・特別公開講座

「進化発生介助ロボットリハビリテーション学～ロボットを用いた人の動き・発達の研究～」  
講演者：澤口裕二氏（士別市立病院 医師）  
150名の参加があった。

#### ・企業展示

リハビリテーション工学関連企業15社による開発商品展示及び研究開発の紹介を行った。

#### ・交流会

カンファレンス2日目、イブニングセッション終了後に30周年記念式典と同会場で交流会が開催された。参加者は164名であった。関係者の挨拶の後、多くの参加者同士の交流が行われた。会場では、土佐和太鼓が披露され、大盛況であった。

#### ・福祉機器コンテスト2016

最終選考会ならびに一次選考通過作品の展示が行われた。

#### ・オプションツアー 「車椅子で登る高知城堪能ツアー」

参加者11名。

### 2) 第32回リハ工学カンファレンス開催準備

- ・第32回リハ工学カンファレンス実行委員会及びi-CREAtE2017の打ち合わせに出席し、演題募

集、論文登録、事前参加登録開始における調整を行った。演題申込みは105件であった。

- ・カンファレンス実行委員会から講演論文事務局業務を委託され、採択処理及び書式チェック等のとりまとめを行った。
- ・5月1日(月)より事前参加登録を開始した。
- ・5月19日(金)に協賛・後援名義使用申請書を送付した。
- ・出展企業募集は5月10日(水)で締め切り。17社から申込みがあった。

### 3) 第33回リハ工学カンファレンス開催準備

- ・神奈川県厚木市での開催が10月23日(日)に行われた理事会で承認された。
- ・大会長は沖川悦三氏(神奈川県総合リハビリテーションセンター)、実行委員長は村田知之氏(神奈川県総合リハビリテーションセンター)に承諾をいただいた。
- ・厚木市及び文化会館と開催日程を協議し、2018年8月29日(水)～31日(金)となった。

## 2-2. 福祉機器コンテスト関連(担当理事:山形茂生)

### 1) 福祉機器コンテスト2016

- ・第一次選考会 2016年7月9日(土) 応募作品の書類・ビデオ審査  
於:横浜市福祉機器支援センター 中山福祉機器支援センター
- ・第二次選考会 2016年8月26日(金):第31回リハ工学カンファレンスinこうち期間中  
機器開発部門:プレゼンテーション審査、学生部門:書類・ビデオ審査  
於:高知県立ふくし交流プラザ(高知市)
- ・発表、表彰:H.C.R.2016会場内 2016年10月12日(水)
- ・展示、広報:  
H.C.R.2016(東京)2016年10月12日(水)～14日(金)(表彰式/受賞作品の実物展示)  
P.P.C.2016(北九州市)2016年11月24日(金)～26日(日)(受賞作品の実物展示)
- ・福祉機器コンテスト結果報告書を作成し、関係団体に配布をした。
- ・協会誌Vol.32 No.1に結果報告書と協賛企業報告を掲載した。
- ・2017年度コンテスト事務局となる車座との業務委託契約を結んだ。

### 2) 福祉機器コンテスト2017

特別協賛:フランスベッド株式会社

協 賛:株式会社有菌製作所、川村義肢株式会社、株式会社ケアフォース、株式会社ケープ、  
日陶科学株式会社、株式会社ミクニライフ&オート、株式会社モリト

後 援:経済産業省、公益財団法人テクノエイド協会、国立研究開発法人新エネルギー・産業  
技術総合開発機構、一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会、一般社団法人日  
本作業療法士協会

- ・福祉機器コンテスト2017選考委員会の設置(2017年4月1日～)
- ・募集対象:機器開発部門、学生部門
- ・広報開始・応募要綱配布:2017年4月中旬
- ・募集期間:機器開発部門、学生部門 2017年5月2日(火)～
- ・展示、広報:バリアフリー2017(大阪)2017年4月20日(木)～22日(土)にて最優秀作品の展示  
とコンテストの広報を行った。また、ウェルフェア2017(名古屋)2017年5月18日  
(木)～20(土)にてコンテストの広報を行った。

## 2-3. 協会誌関連（担当理事：石濱裕規）

1) 協会誌の発刊：以下の協会誌を刊行した。

- ・Vol.31 No.3 2016/8/1 特集 「話してすっきりしよう！ ―相談の中から発見される人間関係技術 ぴったりの解決策―」
- ・Vol.31 No.4 2016/11/1 特集 「重度障害者のコミュニケーション機器―変遷する技術と支援―」
- ・Vol.32 No.1 2017/2/1 特集 「センサとリハ工学」
- ・Vol.32 No.2 2017/5/1 特集 「災害時の環境整備 日常生活を取り戻すための技術」

2) 編集委員会の開催

年4回、横浜にて開催した。電子会議は、技術的には実施可能な環境が整いつつあるが、今期は関東近郊の委員構成もあり、実施には至らなかった。新規編集委員は、2016年度末迄に、公募推薦含め4名の定数に達し、委嘱手続を進めた。

3) 投稿論文

投稿論文は2016年度新規投稿3件（うち、1件受理、1件修正中）であった。第3査読者を立てる必要がある場合等、査読期間の短縮化を進めるための体制につき、検討が必要である。

4) 協会誌の電子化

2006年Vol.21 No.4以降の投稿記事を公開対象とした電子公開が理事会決議され、科学技術振興機構運営のJ-STAGE サービスへ掲載申請し、承認された。

## 2-4. 分科会・専門委員会（担当理事：岩崎満男）

1) 法人外SIG（協力SIG）との覚書締結

協力SIGとしての6SIG（車いすSIG、SIG姿勢保持、移乗機器SIG、COMSIG、SIG住まいづくり、義肢装具SIG）については、協会との協力関係を明記した「覚書」を締結した。

各SIGの2016年度活動報告については、次ページに示す。

2) 支部設置方針の見直し並びに規定整備

支部の区割りを決定し、全国を6支部（東日本支部、関東・甲信越支部、中部支部、関西支部、中国・四国支部、九州支部）とした。既存の3支部（中部、関西、九州・沖縄・山口）は引き続き支部活動を推進することとし、新規支部の立ち上げ準備を行った。

3) 復興支援講習会開催の検討

第5回東日本大震災復興支援リハビリテーション工学講習会 in 宮城（2017年5月13～14日、仙台市）の企画・運営を行った。

4) 災害対策委員会の活動

2016熊本地震の被災地支援を目的に、日本財団の助成金交付が決定し、現地調査（具体的なニーズ調査）、物資の支援（強化ダンボールで机、椅子、棚等の生活必需品を作るための材料提供）、技術支援（被災地での制作ワークショップ）を実施した。本活動の報告書を作成し日本財団に提出した。

2016年度活動報告 期間:2016年7月～2017年6月 ※会員数(協会員数)は2016年5月1日現在。

<b>SIG 姿勢保持</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/posi-sig/">http://www.resja.or.jp/posi-sig/</a>	会員数:176名(41名)
代表者:繁成 剛(東洋大学) 事務局長:児玉真一(横浜市総合リハビリテーションセンター) ・SIG基礎セミナー開催:2017年6月24日・25日(東洋大学) ・第5回震災復興支援講習会in宮城 講師派遣:2017年5月13・14日(震災復興記念館) ・役員会の開催:2017年1月7日 横浜市総合リハビリテーションセンター ・書籍(小児から高齢者までの姿勢保持・第2版)や資料集PDF版の販売		
<b>車いすSIG</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/wc-sig/">http://www.resja.or.jp/wc-sig/</a>	会員数:133名(67名)
代表者:松尾清美(佐賀大学) 事務局長:深野栄子 ・講習会開催:2016年8月24日・25日 高知県立ふくし交流プラザ(高知市) ・講習会開催:2017年1月28日・29日 プロミティあつぎ(神奈川県) ・WEBサイト運営、テキスト発行(年2回)、分科会(BOG)活動、東日本大震災復興支援、協会事業への協力 他		
<b>自助具SIG</b>		会員数:9名(9名)
代表者:岡田英志(ヒューマン) 事務局長:岡田英志(ヒューマン) ・第5回震災復興支援講習会in宮城 講師派遣:2017年5月13・14日(震災復興記念館) ・自助具セットの製作(支援講習会仙台で使用)・Facebookを利用した情報発信(self help devicesノウハウ集 no1～11まで発信)		
<b>乗り物SIG</b>	<a href="http://ameblo.jp/sunrisejp007/">http://ameblo.jp/sunrisejp007/</a>	会員数:5名(5名)
代表者:岩崎満男(㈱ファーストウェルフェア) 事務局長:増子千景(WILD GATE) ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣 ・第5回震災復興支援講習会in宮城 講師派遣:2017年5月13・14日(震災復興記念館)		
<b>SIG 褥そう防止装置</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/sig-pmps/">http://www.resja.or.jp/sig-pmps/</a>	会員数:20名(20名)
代表者:新妻淳子(国立リハセンター研究所) 事務局長:河合俊宏(埼玉県総合リハビリテーションセンター) ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣 ・第5回震災復興支援講習会in宮城 講師派遣:2017年5月13・14日(震災復興記念館)		
<b>コミュニケーションSIG</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/com-sig/">http://www.resja.or.jp/com-sig/</a>	会員数:67名(20名)
代表者:渡辺崇史(日本福祉大学) 事務局長:上野忠浩(横浜市総合リハビリテーションセンター) ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣 ・第5回震災復興支援講習会in宮城 講師派遣:2017年5月13・14日(震災復興記念館) ・島山卓朗氏追悼講習会共催(リハビリテーション工学協会中部支部主催)2017年6月10日		
<b>SIG 住まいづくり</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/sumai-sig/">http://www.resja.or.jp/sumai-sig/</a>	会員数:107名(60名)
代表者:橋本美芽(首都大学東京) 事務局長:鈴木基恵(横浜市総合リハビリテーションセンター) ・第5回震災復興支援講習会in宮城 講師派遣:2017年5月13・14日(震災復興記念館) ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣		
<b>特別支援教育SIG</b>		会員数:5名(5名)
代表者:松田靖史(川村義肢株式会社) 事務局長:高原光恵(鳴門教育大学) ・講習会開催:2016年8月25日 高知県立ふくし交流プラザ(高知市) ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣 ・第5回震災復興支援講習会in宮城 講師派遣:2017年5月13・14日(震災復興記念館)		
<b>移乗機器SIG</b>	<a href="http://www.reha.kobegakuin.ac.jp/~hp-reha/transfer/index.html">http://www.reha.kobegakuin.ac.jp/~hp-reha/transfer/index.html</a>	会員数:128名(23名)
代表者:古田恒輔(神戸学院大学) 事務局長:青木久美子(宇部記念病院訪問リハビリテーション) ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣 ・第5回震災復興支援講習会in宮城 講師派遣:2017年5月13・14日(震災復興記念館) ・ニュース発行(2回)		
<b>義肢装具SIG</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/po-sig/">http://www.resja.or.jp/po-sig/</a>	会員数:164名(47名)
代表者:水澤二郎(一般財団法人啓成会 啓成会高等職業技術専門校) 事務局長:砂野義信 ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣 ・講習会開催:2016年10月1日 義肢装具SIG第12回講習会 高知県立大学・高知工科大学 永国寺キャンパス(高知県) ・WEBサイト運営		

2016年度活動報告

<b>九州・沖縄・山口支部</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/koy">http://www.resja.or.jp/koy</a>
支部長:松尾清美(佐賀大学) 支部庶務幹事:小林博光(総合せき損センター) ・リハ工学関連セミナー:2016年11月24～26日 第18回西日本国際福祉機器展(北九州市) ・第18回西日本国際福祉機器展リハ工ブース支援2016年11月23日～26日(搬入出及び説明・相談/支援スタッフ)	
<b>関西支部</b>	
支部長:黒田大治郎(元・神戸学院大学) 事務局長:糟谷佐紀(神戸学院大学) ・バリアフリー2017リハ工ブース担当:2017年4月20～22日 インテックス大阪(大阪市) ・セミナー「電動車椅子の空港利用を考える」:2017年2月18日・大阪国際空港(伊丹空港)	
<b>中部支部</b>	
支部長:渡辺崇史(日本福祉大学) 事務局長:井村 保(中部学院大学) ・島山卓朗氏追悼講習会共催(リハビリテーション工学協会中部支部主催、COMSIG共催)2017年6月10日	

## 2-5. 企画推進事業（企画担当理事：中村俊哉／事業統括理事：金井謙介）

協会の広報活動及び会員獲得に向けたPR活動、公益活動のために以下の展示会出展及び出展社セミナー等の開催を行った。

### 1) 学会展示会、広報活動強化

以下の展示会へブースを設定し、広報活動を実施した。

- ・H.C.R.2016（2016年10月12日(水)～10月14日(金) 於：東京ビッグサイト（東京）にてブース出展を行った。
- ・P.P.C.2016（2016年11月24日(木)～26日(土) 於：西日本総合展示場新館）九州・沖縄・山口支部の協力の上出展を行った。
- ・バリアフリー2017（2017年4月20日(木)～22日(土) 於：インテックス大阪（大阪）への出展を行った。

### 2) セミナー開催

以下のセミナーを開催した。

- ・H.C.R.2016（東京）において、「電動車椅子で旅にでよう 電動車椅子で飛行機に乗るには」（講師：宮野秀樹氏・松尾清美氏・黒沢直子氏、2016年10月13日(木)）を開催した。
- ・P.P.C.2016（北九州）において、九州・沖縄・山口支部の協力を得て、連日複数回のセミナーを企画・開催した（2016年11月24日(木)～26日(土)）。
- ・バリアフリー2017において、「みんなで楽しもうや！重度障害者のスポーツ・レジャー～四肢麻痺者のチェアスキー・チャレンジから～」(講師：宮野秀樹氏・松田靖史氏・沖川悦三氏、2017年4月22日(土))と題した出展社ワークショップを企画・開催した。

### 3) 「一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 30周年記念式典」開催

日程 2016年8月27日(土) 19:30～21:30 於 土佐御苑（高知市）

第31回リハ工学カンファレンス in こうちの交流会と合わせ開催した（前半：記念式典、後半：交流会）。

また、記念式典において、功労者（4名）・功労企業（9社）に対し感謝状の贈呈を行うとともに、功労者を代表し、相良顧問より「減災デザインへの招待」として講演していただいた。

### 4) 第5回東日本大震災復興支援リハビリテーション工学講習会 in 宮城開催

- ・2017年5月13日(土)～14日(日)、仙台市戦災復興記念館にて第5回東日本大震災復興支援リハビリテーション工学講習会 in 宮城を開催した。

### 5) その他

- ・全国頸髄損傷者連絡会との第6回合同シンポジウム「つながろう！～みんなで考える車椅子ユーザーの住まいづくり～」を開催した（2017年3月25日(土)、福岡県中小企業振興センター）。

## 2-6. 国際関連の事業（担当理事：畠中規）

- ・7月のi-CREATE2016へ剣持理事を派遣。CREATE Asiaの情報収集を行った。
- ・リハ工学カンファレンス（高知）の国際セッションを企画・運営した。
- ・協会誌に剣持理事よりi-CREATE2016報告を掲載し、協会員に国際活動を周知した。
- ・RESJA 英文リーフレットの専門業者による校正を行った。



- ・ CREATE Asia、日韓台3カ国協定、昨年始まった RESNA 主導の国際連携（支援技術専門家組織連合：AATPO）、今年 WHO と中国が主導して立ち上げようとしているアジア連携（3AT）のそれぞれのアジア連携に関する動きに関する情報収集と対応を行った。
- ・ 理事会とともに諸外国との国際連携を推進するため、国際経験豊かな相良二郎氏、井上剛伸氏、井村保氏にご協力をお願いし、上記の諸課題を相談し、アドバイスを頂きながら取り組んだ。

### 3. 総務

#### 3-1. 規則・選挙（担当理事：水澤二郎）

- ・ 2016 年度定時社員総会における第 3 号議案（定款の変更）の決議を受け、定款の改定を行った。
- ・ 選挙管理委員会の発足、並びに当該委員会業務に関するとりまとめを行った。
- ・ 代議員並びに役員任期満了に伴い、代議員選挙、役員候補者選挙を行った。
- ・ 各種規則等の規定状況についてその内容を精査し、運用上の問題点や改定の必要性の有無を確認した。

#### 3-2. 財務（担当理事：吉田泰三）

昨年度構築した財務・財務管理体制を運用した。通常の決算処理ならびに予算作成を遅滞なく行った。また、新たに立ち上げられた支部の活動や、新たに設置された災害対策委員会の活動に関する財政的支援を行った。

#### 3-3. 総会・理事会等会議開催（担当理事：高原光恵）

##### 1) 2016 年度定時社員総会の開催

2016 年 8 月 27 日 12:20～13:20、高知県立ふくし交流プラザにおいて定時社員総会を開催した。

##### 2) 2016 年度第 1 回（通算第 38 回）～第 5 回（通算第 42 回）理事会の開催

2016 年 7 月 24 日、10 月 23 日、12 月 11 日、2017 年 3 月 19 日、6 月 18 日に開催した。

#### 3-4. 広報・渉外（担当理事：杉本昌子）

- ・ メールニュースの配信（17 件／2017.5 現在）
- ・ 会員 ML 新規登録（39 件／2017.5 現在）
- ・ 会員 ML 変更作業（18 件／2017.5 現在）
- ・ 新会員 ML サービスの準備を行った。
- ・ 新規事業後援、協力等の対応（1 件）
- ・ 2017 年度（予定）協会ホームページリニューアルにあたり、現状の課題整理を行った。
- ・ 協会の Facebook にて随時情報発信を行った。

### 4. 事務局（担当理事：沖川悦三）

#### 1) 事務局運営

- ・ 法人としての事務局を運営し、法人会計の更なる整備を進めた。
- ・ 会費未納者へのお知らせを送付した。

#### 2) ホームページの運営管理

会員サービスの一環として、今まで以上のホームページ掲載内容の充実を図り、迅速に情報を掲載した。

### 3) 大規模災害時の協会の対応

大規模災害時の協会の対応のひとつとして、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会(JRAT)に加盟した。

## 5. 後援・協賛事業

2016年度は以下の事業の後援・協賛を行った。

No.		団体名	開催日程	内容
1	後援	福祉用具プランナー研究ネットワーク	2016/7/3	プラネット第2回研究大会
2	後援	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団	2016/7/29～30	ヨコハマ・ヒューマン&テクノラント2016
3	後援	一般社団法人日本福祉のまちづくり学会	2016/8/5～7	日本福祉のまちづくり学会 第19回全国大会
4	後援	特定非営利活動法人医療ネットワーク支援センター	2016/9～2017/4	第4回ウェルフェアデザインコンテスト
5	協賛	特定非営利活動法人ヒューマンインタフェース学会	2016/9/6～9	ヒューマンインタフェースシンポジウム2016
6	後援	一般社団法人日本作業療法士協会	2016/9/9～11	第50回日本作業療法学会
7	後援	独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校	2016/9/10～11	Japan ATフォーラム2016
8	後援	一般社団法人ナンフェス	2016/9/19	ウォーク&ランフェスタ2016
9	後援	NPO法人ケアリフォームシステム研究会	2016/10/15	ケアリフォームシステム研究会 全国大会in横浜
10	後援	一般社団法人日本義肢装具学会	2016/10/15～16	第32回日本義肢装具学会学術大会
11	後援	特定非営利活動法人バイオフィリアリハビリテーション学会	2016/10/29～30	第20回バイオフィリアリハビリテーション学会大会
12	後援	日本身体障害者補助犬学会	2016/10/29～30	日本身体障害者補助犬学会 第9回学術大会
13	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2016/11/3～5	ライフエンジニアリング部門シンポジウム2016 (LE2016)
14	協賛	バイオメカニズム学会	2016/11/12～13	第37回バイオメカニズム学術講演会
15	後援	東京都南多摩保健医療圏地域リハビリテーション支援センター	2016/11/19～20	平成28年度福祉用具講習会『第4回南多摩福祉機器展』
16	協賛	西日本国際福祉機器展実行委員会	2016/11/24～26	P. P. C. 2016第18回西日本国際福祉機器展
17	後援	介助犬のひろば実行委員会	2016/12/1～3	介助犬のひろばin北河内2016
18	協賛	社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団	2016/12/3	かなりは リハ工学 福祉機器フェスティバル2016
19	協賛	感覚代行研究会	2016/12/12～13	第42回(2016年)感覚代行シンポジウム

20	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2016/12/15～17	第17回SICEシステムインテグレーション部門講演会
21	後援	国立障害者リハビリテーションセンター	2017/1/29	支援機器利活用拡大シンポジウム2017
22	後援	日本チェアスキー協会	2017/2/23～26	障害者スキー普及講習会 第38回日本チェアスキー大会
23	協賛	特定非営利活動法人モバイル学会	2017/3/9～10	シンポジウム「モバイル'17」
24	後援	公益社団法人日本理学療法士協会	2017/5/12～14	第52回日本理学療法学会大会
25	協力	日本身体障害者補助犬学会	2017/5/26	航空関係者対象 障害者差別解消法 & 車椅子取扱いセミナー

下線は新規事業

第2号議案 2016年度決算報告(案) / 監査報告

「決算報告書」(貸借対照表、損益計算書、事業費・管理費)及び補助資料として「試算表(補助科目含む)」をご覧ください。



## 貸借対照表

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

平成29年 6月30日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
<b>【流動資産】</b>	8,508,251	<b>【流動負債】</b>	14,768,741
現金及び預金	7,640,883	前受会費等	2,155,000
前払金	649,000	前受金その他	125,000
未収入金	10,000	仮受金	12,424,325
仮払金	205,732	預り金	64,416
前払費用	2,636	負債の部計	14,768,741
<b>【固定資産】</b>	10		
(有形固定資産)	10		
器具備品	10		
		正味財産の部	
		<b>【正味財産】</b>	△6,260,480
		正味財産	△4,659,071
		当期正味財産増加額	△1,601,409
		正味財産の部計	△6,260,480
資産の部計	8,508,261	負債・正味財産の部計	8,508,261

## 損 益 計 算 書

自 平成28年 7月 1日

一般社団法人日本印刷技術工学協会

至 平成29年 6月30日

科 目	金	額
		円
【入 会 金 収 入】		32,000
【会 費 収 入】		
一 般 会 費 収 入	6,027,000	
学 生 会 費 収 入	62,000	
賛 助 会 費 収 入	600,000	6,689,000
【事 業 収 入】		
書 籍 頒 布	32,000	
購 読 サービス 会 費	233,750	
協 会 誌 収 入	260,000	
そ の 他 事 業 収 入	1,193,467	1,719,217
【雑 収 入】		1,036,628
収 益 合 計		9,476,845
【事 業 費】		7,250,468
【管 理 費】		3,827,786
費 用 合 計		11,078,254
当期正味財産増加額		△1,601,409

## 事業費・管理費

自 平成28年 7月 1日

一般社団法人日本パルチーノ工学協会

至 平成29年 6月30日

科 目	金	額
		円
<b>【事業費】</b>		
協会誌編集・発行費	3,240,595	
S I G 活動補助金	8,060	
支部活動補助金	163,349	
企画推進経費	1,612,536	
広報活動費	1,014,379	
専門委員会経費	1,170,959	
理事活動費	40,590	7,250,468
<b>【管理費】</b>		
公認会計士顧問料	259,200	
会議費	240,992	
通信費（電話）	38,046	
通信費（郵送料）	151,619	
事務用品費	63,737	
送料（運賃）	8,967	
印刷費	155,921	
事務局備品リース料	249,480	
管理委託費	33,079	
事務委託費	720,000	
支払手数料	5,960	
収納代行手数料	169,526	
その他手数料	4,644	
理事会旅費	1,726,615	3,827,786
事業費及び管理費		11,078,254

貸 借 対 照 表

勘定科目	前月残高	借方	貸方	当月残高	比率	勘定科目	前月残高	借方	貸方	当月残高	比率
9000 現金	9,991	5,920,013	5,925,695	4,309	0.1	1411 入会金(今年度分)	0		28,000	28,000	0.4
9010 普通預金	9,480,467	24,322,352	26,166,245	7,636,574	89.8	1412 入会金(前納分)	0		4,000	4,000	0.1
<b>9025 流動性預金</b>	<b>9,490,458</b>	<b>30,242,365</b>	<b>32,091,940</b>	<b>7,640,883</b>	<b>89.8</b>	416 一般会費(今年度分)	0		4,072,000	4,072,000	60.3
<b>9065 [現金及び預金]</b>	<b>9,490,458</b>	<b>30,242,365</b>	<b>32,091,940</b>	<b>7,640,883</b>	<b>89.8</b>	1416 一般会費(前納分)	0		1,480,000	1,480,000	21.9
<b>9075 [当座資産]</b>	<b>9,490,458</b>	<b>30,242,365</b>	<b>32,091,940</b>	<b>7,640,883</b>	<b>89.8</b>	1417 一般会費(下半年分)	0		76,000	76,000	1.1
181 前払入金	649,000	649,000	649,000	649,000	7.6	1419 一般会費(過年度分)	0		399,000	399,000	5.9
9105 未収入金	170,000	160,000	160,000	10,000	0.1	1420 学生会費(今年度分)	0		16,000	16,000	0.2
9085 仮払金	0	205,732	205,732	205,732	2.4	1421 学生会費(前納分)	0		36,000	36,000	0.5
186 前払費用	4,130	24,076	25,570	2,636	0.0	1422 学生会費(下半年分)	0		10,000	10,000	0.1
191 ファンファンレス会計	0	500,000	500,000	0	0.0	1424 奨助会費(前納分)	0		600,000	600,000	8.9
192 コンテラント会計	0	2,623,826	2,623,826	0	0.0	421 書籍頒布	0		32,000	32,000	0.5
<b>9150 [流動資産]</b>	<b>10,313,588</b>	<b>34,244,999</b>	<b>36,050,336</b>	<b>8,508,251</b>	<b>100.0</b>	1430 購読ビジネス会費(今年)	0		72,500	72,500	1.1
206 器具備品	10			10	0.0	1431 購読ビジネス会費(前納)	0		161,250	161,250	2.4
<b>9200 [有形固定資産]</b>	<b>10</b>	<b></b>	<b></b>	<b>10</b>	<b>0.0</b>	422 協会誌広告収入	0		220,000	220,000	3.3
<b>9240 [固定資産]</b>	<b>10</b>	<b></b>	<b></b>	<b>10</b>	<b>0.0</b>	423 協会誌掲載料収入	0		40,000	40,000	0.6
<b>9300 [資産の部]</b>	<b>10,313,598</b>	<b>34,244,999</b>	<b>36,050,336</b>	<b>8,508,261</b>	<b>100.0</b>	426 事業費雑収入	0		34,960	34,960	0.5
309 次年度入会金	4,000	4,000	3,000	3,000	0.0	429 その他の協賛金	0		1,318,000	1,318,000	19.5
1309 次年度一般会費	1,480,000	1,480,000	1,580,000	1,580,000	18.6	471 受取利息	0	8,000	256	0.0	
1310 次年度学生会費	32,000	36,000	6,000	2,000	0.0	472 雑収入	0		1,036,372	1,036,372	15.3
1311 次年度賛助会費	600,000	600,000	570,000	570,000	6.7	475 コンテラント開催協賛金	0	2,359,493	2,200,000	2.4	
1312 次年度購読ビジネス会費	143,750	161,250	142,500	125,000	1.5	<b>8099 (収益合計)</b>	<b>0</b>	<b>2,367,493</b>	<b>11,844,338</b>	<b>9,476,845</b>	<b>140.3</b>
308 書籍頒布経費(送料等)	0	1,620	1,620	0	0.0	641 協会誌編集・発行費	0	3,240,595	3,240,595	48.0	
310 仮受金	12,416,325		8,000	12,424,325	146.0	646 SIG活動補助金	0	8,060	8,060	0.1	
311 預り金	296,594	388,988	156,810	64,416	0.8	647 支部活動補助金	0	163,349	163,349	2.4	
<b>9350 [流動負債]</b>	<b>14,972,869</b>	<b>2,670,238</b>	<b>2,466,310</b>	<b>14,768,741</b>	<b>173.6</b>	648 企画推進経費	0	1,612,536	1,612,536	23.9	
<b>9400 [負債の部]</b>	<b>14,972,869</b>	<b>2,670,238</b>	<b>2,466,310</b>	<b>14,768,741</b>	<b>173.6</b>	649 広報活動費	0	1,014,379	1,014,379	15.0	
9430 繰越利益剰余金	Δ4,659,071		Δ1,601,409	Δ6,260,480	-	650 専門委員会経費	0	1,173,379	1,170,959	17.3	
9440 (うち当期増加額)	0		Δ1,601,409	Δ1,601,409	-	678 公認会計士顧問料	0	259,200	259,200	3.8	
<b>9445 [利益剰余金]</b>	<b>Δ4,659,071</b>	<b></b>	<b>Δ1,601,409</b>	<b>Δ6,260,480</b>	<b>-</b>	683 会議費	0	38,046	38,046	0.6	
<b>9450 [正味財産の部]</b>	<b>Δ4,659,071</b>	<b></b>	<b>Δ1,599,789</b>	<b>Δ6,260,480</b>	<b>-</b>	685 通信費(電話)	0	153,239	151,619	2.2	
<b>9500 負債・正味財産の部</b>	<b>10,313,598</b>	<b>2,671,858</b>	<b>866,521</b>	<b>8,508,261</b>	<b>100.0</b>	686 通信費(郵送料)	0	63,737	63,737	0.9	
						688 送料(運賃)	0	8,967	8,967	0.1	
						689 印刷費	0	155,921	155,921	2.3	
						692 事務局備品リース料	0	249,480	249,480	3.7	
						703 管理委託費	0	33,079	33,079	0.5	
						704 事務委託費	0	720,000	720,000	10.7	
						705 支払手数料	0	5,960	5,960	0.1	
						706 収納代行手数料	0	169,526	169,526	2.5	
						707 その他の手数料	0	4,644	4,644	0.1	
						708 理事会旅費	0	1,726,615	1,726,615	25.6	
<b>8102 (管理費)</b>	<b>0</b>	<b></b>	<b>1,620</b>	<b>3,829,406</b>	<b>56.7</b>						
<b>8199 [費用合計]</b>	<b>0</b>	<b></b>	<b>4,040</b>	<b>11,082,294</b>	<b>164.0</b>						
<b>8999 当期正味財産増加額</b>	<b>0</b>	<b></b>	<b>11,848,378</b>	<b>13,449,787</b>	<b>-</b>						
<b>9435 [繰越利益剰余金]</b>	<b>Δ4,659,071</b>	<b></b>	<b>Δ4,659,071</b>	<b>Δ4,659,071</b>	<b>-</b>						
<b>9800 [正味財産]</b>	<b>Δ4,659,071</b>	<b></b>	<b>11,848,378</b>	<b>Δ4,659,071</b>	<b>-</b>						



2016 年度監査報告

2017(平成 29)年 7 月 15 日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会  
会長 繁 成 剛 様

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会  
2016 年度(平成 28 年度)監査報告書

私たち監事は、当協定会款第 60 条の規定に基づき 2016 事業年度(2016 年 7 月 1 日より 2017 年 6 月 30 日まで)の監査を実施したので、その方法および結果について以下の通り報告します。

1. 監査の方法および内容

各監事は、理事および事務局長と意思疎通を図り、理事会その他重要な会議・主催事業に出席し、事業報告を受けるとともに会計帳簿ならびに決算書類につき閲覧調査しました。

2. 監査結果

- 1) 業務執行状況について監査した結果、理事の職務は法令および当会の諸規定に則り執行され、総会の決議した年間事業は概ね順調に実施されていたものと認めます。
- 2) 決算報告書、証拠書類等について監査した結果、本会の財産は適正に管理されていたものと認めます。

3. 付帯意見

- 1) 昨年度に比べ会費収入増、管理費節減となっており収支改善に努めようとしたことがわかります。しかしながら、復興支援講習会の収入減少、災害対策委員会による熊本支援事業の支出超過、理事会旅費支出（ただし、昨年度比 419,110 円減）等により、予算決定時の約 69 万円からさらに約 91 万円赤字が増大する決算となりました。
- 2) 新しい事業を含め当協会ならではの意義深い事業を展開されていることは確かですが、事業を継続するためにも、さらなる事業費・管理費縮減や会費値上げを含め、収支のバランスを取るための具体策を早急に検討されることを希望します。

監事 相川 孝訓 印

監事 赤澤 康史 印

## 第3号議案 定款の変更（案）

現在の理事会は、代表理事並びに業務執行理事により各業務を執行しているところであり、各業務執行理事は理事会規則第3条に基づきそれぞれの分掌事項に対応している。また、任意に副会長などの役職理事を設けることが認められており、定款第33条第3項にてこれを規定しているが、その人数は限定されている。今後の理事会運営においては、職務の執行が法令及び定款に適合することを確保すること、並びに当法人の業務の適正を確保することなどを確実に遂行することはもとより、これまで以上の安定的かつ弾力的な業務分掌を行うために副会長の人数を若干名に変更したい。よって、下記のごとく定款の変更を提案する。

ついては、定款第61条第1項（定款の変更）に基づき、ご承認の決議をお願いしたい。

新 第5章	旧 第5章
(役員を設置等) 第33条 当法人に、次の役員を置く。 (1) 理事 11名以上15名以内 (2) 監事 2名 2 当法人に、会計監査人を1名おくことができる。 3 理事のうち、1名を代表理事とし、代表理事をもって会長とする。また、 <u>若干名</u> を副会長とすることができる。 4 理事のうち、若干名を業務執行理事とする。 (理事の職務・権限) 第35条 理事は、理事会を構成し、この定款の定めるところにより、当法人の業務の執行を決定する。 2 会長は、当法人を代表し、その業務を執行する。 3 副会長は、会長を補佐し、当法人の業務を執行する。また会長がその業務を執行できなくなったときは、 <u>副会長の中から予め決められた代行順位に従い、その職務を代行する。</u> 4～5 (略)	(役員を設置等) 第33条 当法人に、次の役員を置く。 (1) 理事 11名以上15名以内 (2) 監事 2名 2 当法人に、会計監査人を1名おくことができる。 3 理事のうち、1名を代表理事とし、代表理事をもって会長とする。また、 <u>1名</u> を副会長とすることができる。 4 理事のうち、若干名を業務執行理事とする。 (理事の職務・権限) 第35条 理事は、理事会を構成し、この定款の定めるところにより、当法人の業務の執行を決定する。 2 会長は、当法人を代表し、その業務を執行する。 3 副会長は、会長を補佐し、当法人の業務を執行する。また会長がその業務を執行できなくなったときは、 <u>その職務を代行する。</u> 4～5 (略)

## 【参考】

## 理事会規則

(理事の業務分掌事項)

第3条 定款第35条第4号に定める業務執行理事の業務は、以下の各号のとおりとする。

- (1) 総務（会員、規則、財務、会議、広報、渉外、他）
- (2) 事業（カンファレンス、協会誌、分科会、専門委員会、コンテスト、企画、国際、他）
  - 2 担当人数については、業務の状況にあわせ、理事会にて決定する。
  - 3 副会長が、業務執行理事を兼ねることは妨げない。また、その必要性に応じて業務執行理事でない理事をおくことができる。

## 第4号議案 2017年度事業計画（案）

## 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2017年度事業方針

2017年度の事業計画として、まず8月22日から24日まで神戸国際会議場において第32回リハ工学カンファレンスを開催し、会期中に社員総会を開く予定です。この大会はi-CREATe2017と同会場で同期間で開催し、最終日には合同イベントとして公開講座を計画しています。また例年通り協会誌の発行を4回、福祉機器コンテスト2017を従前のスケジュールで実施いたします。9月27日から29日まで東京ビッグサイトで開催される国際福祉機器展（H.C.R.2017）に当協会のブースを出展し、来場者に協会の活動紹介と福祉機器コンテスト2017の受賞作品展示、さらにこの会期中に福祉機器コンテストの表彰式を実施する予定です。

分科会活動として、10SIGのうち4SIGは法人内の組織として編成されましたが、他のSIGとは協会と協力団体として今後も協会の活動を支援していただく予定です。支部に関しては、これまで設立した中部、関西、九州に加え関東・甲信越が6月に設立され、東日本、中国・四国の支部を設立する準備を進めているところです。災害対策委員会では、5月に当協会がJRATに加盟したことで、関連団体と協力しながら東日本大震災及び熊本地震による被災地及び今後起こりうる災害の被災地に対して支援活動を実施する予定です。

国際連携推進委員会ではアジアのリハ工学関連組織の連携団体であるCREATe Asia（アジアリハ工学連携会議）と支援技術専門家組織連合（Alliance of Assistive Technology Professional Organizations）についてはRESNA、AAATE、ARATA、RESKO、TREATSと調整しながら、中央委員会（Steering Committee）のメンバーとして今後の国際連携活動を推進いたします。また当協会を紹介する英文パンフレットを作成し、海外に当協会の活動を広報する予定です。

予算に関しては例年厳しい財政事情になっていますが、これまで当協会が継続してきた事業を確実に実施するために予算を立てながら、支部活動や国際連携を進める上で予算を計上するため、できる限り支出を削減するように努め、さらに新会員と協賛団体の加入を進めるよう努力したいと考えています。

会長 繁成 剛

## 1. 事業

## 1-1. リハ工学カンファレンス関連（カンファレンス担当理事）

## 1) 第32回リハ工学カンファレンス

第32回リハ工学カンファレンス in 神戸を開催する。

- ・会期：2017（平成29）年8月22日（火）～24日（木）
- ・会場：神戸国際会議場（兵庫県神戸市）
- ・大会テーマ：Powerful Asia. 支える技術でつながる みんなと社会
- ・大会長：相良二郎氏（神戸芸術工科大学 教授）
- ・実行委員長：中村俊哉氏（兵庫県立福祉のまちづくり研究所）

同時開催されるi-CREATe2017や共同企画を行うWHO神戸と連携し、国際協力を推進する。

## 2) 第33回リハ工学カンファレンス準備

第33回リハ工学カンファレンスの開催支援を行う。

- ・会期：2018（平成30）年8月29日（水）～31日（金）

- ・会場：厚木市文化会館（神奈川県厚木市）
- ・大会長：沖川悦三氏（神奈川県総合リハビリテーションセンター）
- ・実行委員長：村田知之氏（神奈川県総合リハビリテーションセンター）

### 3) 第34回リハ工学カンファレンス準備

第34回リハ工学カンファレンスの開催候補地選び及び調整・準備を行う。

## 1-2. 福祉機器コンテスト関連（コンテスト担当理事）

### 1) 福祉機器コンテスト2017

- ・第一次選考会 2017年7月8日(土)  
応募作品の書類・ビデオ審査 於：横浜市総合リハビリテーションセンター
- ・第二次選考会 2017年8月23日(水)  
機器開発部門：プレゼンテーション審査、学生部門：書類・ビデオ審査  
於：第32回リハ工学カンファレンス in 神戸開催会場内
- ・発表・表彰：H.C.R.2017 会場内 2017年9月27日(水)～29日(金)
- ・展示・広報（予定）：  
第32回リハ工学カンファレンス in 神戸（兵庫県） 2017年8月22日(火)～24日(木)（一次選考通過作品展示）  
H.C.R.2017（東京） 2017年9月27日(水)～29日(金)（表彰式／受賞作品の実物展示）  
P.P.C.2017（北九州市） 2017年11月16日(木)～18日(土)

### 2) 福祉機器コンテスト2018

- 特別協賛（予定）：フランスベッド株式会社
- 協賛（予定）：株式会社有菌製作所、株式会社ケアフォース、川村義肢株式会社、株式会社ケープ、日陶科学株式会社、株式会社ミクニライフ&オート、株式会社モリトー
- 後援（予定）：厚生労働省、経済産業省、公益財団法人テクノエイド協会、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会、一般社団法人日本作業療法士協会
- ・福祉機器コンテスト2018 選考委員会の設置（2018年4月1日～）
- ・募集対象：機器開発部門、学生部門
- ・広報開始・応募要綱配布：2018年4月中旬
- ・募集期間：機器開発部門 2018年5月～6月、学生部門 2018年5月～7月
- ・展示・広報（予定）：  
バリアフリー 2018（大阪）展示会（広報） 2018年4月19日(木)～21日(土)  
ウェルフェア 2018（名古屋）展示会（広報） 2018年5月

### 3) コンテスト発展のための取り組み

コンテストの企画内容及び運営方法を見直しする。

## 1-3. 協会誌関連（協会誌担当理事）

### 1) 協会誌編集

年4回、協会誌の発行に合わせて会場の確保を行い、編集委員会を開催する。そのほか随時、インターネット上にて編集作業の進捗状況について情報交換を行う。

## 2) 協会誌発行

以下の発行を予定している。

- ・ Vol.32 No.3 2017/8/1 特集 「(仮) 幸せを呼ぶ支援機器」
- ・ Vol.32 No.4 2017/11/1 特集 「(仮) おいしいごはんが大きくな〜れ♪」
- ・ Vol.33 No.1 2018/2/1 特集 「未定」
- ・ Vol.33 No.2 2018/5/1 特集 「未定」

## 3) 投稿論文(査読依頼)

査読担当委員を中心に、投稿論文の査読者の確保、依頼等を行う。査読体制の改善、さらには査読規定の改正が必要と思われる場合には、担当者間で協議し、対処する。

## 4) 協会誌の段階的電子化とバックナンバーの電子化保管

理事会承認の上、J-STAGE への Vol.21 No.4 以降の投稿記事(査読論文・研究報告・技術報告等)を公開対象とし、2017 年度登載希望で J-STAGE サービス利用申込を行った。しかしながら、学術雑誌等の公開機関の統一化(CiNii 登録 1400 学術誌の一斉移行)にあたり、2016 年度中の登録作業については文部科学省予算をオーバーしたため、申込業務が一時休止となっており、当協会誌も申込年度中の掲載登録が遅延する可能性が高いことが国立科学技術振興機構への照会の結果、判明した。

昨年度の部分的電子化予算は、同機構への登録諸経費やリスト作成事務等を勘案したものであったが、2016 年度は未執行となったため、次年度へ繰り越しとさせて頂きたい。

なお、当協会HPでの先行公開は、同サービスへの登録にあたり、支障ないとの返答を頂いている。併せて、紙媒体に経年劣化や消失等のリスクは避けられないため、創刊号以来の電子化保管を進める。

## 1-4. 分科会・専門委員会関連(分科会・専門委員会担当理事)

### 1) SIG 活動支援

現在設立されている 10SIG は、それぞれ主体的に活動内容を企画・実施しつつ、時に複数 SIG 間で協同の事業を行っている。主な関心領域やメンバーの専門領域、そして企画の進め方も異なる多様性に富んだ 10 グループの活動組織は、当法人が企画する事業を実現化する際に大変頼りになるパートナーである。

2016 年度は、さまざまな運営規模及び運営方法である法人外 SIG の活動と協働するために、基本協力関係の覚書を締結し、協力関係を明確にした。

2017 年度は、当法人が企画・参画・運営する事業(講習会やコンテスト、協会誌の査読など)実施に際して、法人内 SIG・協力 SIG の協力を仰ぎながら法人としての活動を活性化していきたい。

### 2) 支部再編の推進及び既設の支部への活動支援

2016 年度は、支部設置方針を見直して、設置申請方式から地域区割り方式に変更し、会員はいずれかの地域の支部に所属し、各地域でのリハ工学に関わる人的ネットワークを構築するために、規定整備を行った。

2017 年度は、支部の区割りに従って、具体的な組織化のために新規支部を 2 支部立ち上げるための支援を行う。なお、既設支部に対しても、継続的な活動が行えるよう活動経費として支部活動金の配分を行いたい。

### 3) 災害対策委員会の運営

2016 年度に、本協会において災害対応体制が本格的に整備されるまでの期間、期限付き委員会であ

る「災害対策委員会」を設置し、主に熊本地震の支援を実施した。

2017年度は、継続して活動を行うとともに、JRATの活動にも可能な範囲で参加する。

2017年度活動計画		期間:2017年7月~2018年6月	※会員数(協会員数)は2017年6月1日現在。
<b>SIG 姿勢保持</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/posi-sig/">http://www.resja.or.jp/posi-sig/</a>	代表者: 繁成剛(東洋大学) 事務局長: 児玉真一(横浜市総合リハビリテーションセンター)	会員数: 176名 (41名)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会開催: 実施予定 日程: 未定 会場: 未定</li> <li>・役員会の開催: 開催予定 日程: 2017年12月末 会場: 横浜市総合リハビリテーションセンター (予定)</li> <li>・書籍(小児から高齢者までの姿勢保持・第2版)や資料集PDF版の販売</li> </ul>			
<b>車いすSIG</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/wc-sig/">http://www.resja.or.jp/wc-sig/</a>	代表者: 松尾清美(佐賀大学) 事務局長: 深野栄子	会員数: 133名 (67名)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会開催: 2017年8月26日・27日 日本福祉用具評価センター (JASPEC) (神戸市)</li> <li>・講習会開催: 2018年1月20日・21日 佐賀県在宅生活サポートセンター (佐賀県)</li> <li>・WEBサイト運営、テキスト発行(年2回)、分科会(BOG)活動、大規模災害復興支援、協会事業への協力 他</li> </ul>			
<b>自助具SIG</b>		代表者: 岡田英志 (ヒューマン) 事務局長: 岡田英志 (ヒューマン)	会員数: 9名 (9名)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハ工カンファレンスやその他講習会への協力</li> <li>・Facebookを利用した情報発信 (self help devicesノウハウ集)</li> </ul>			
<b>乗り物SIG</b>	<a href="http://ameblo.jp/sunrisejp007/">http://ameblo.jp/sunrisejp007/</a>	代表者: 岩崎満男(㈱ファーストウェルフェア) 事務局長: 増子千景(WILD GATE)	会員数: 5名 (5名)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・分科会(BOG)活動、大規模災害復興支援、協会事業への協力 他</li> <li>・SIGのFB/HP更新など</li> </ul>			
<b>SIG 褥そう防止装置</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/sig-pmps/">http://www.resja.or.jp/sig-pmps/</a>	代表者: 新妻淳子(国立リハセンター研究所) 事務局長: 河合俊宏(埼玉県総合リハビリテーションセンター)	会員数: 20名 (20名)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハ工学カンファレンス ポストセミナー</li> </ul>			
<b>コミュニケーションSIG</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/com-sig/">http://www.resja.or.jp/com-sig/</a>	代表者: 渡辺崇史(日本福祉大学) 事務局長: 上野忠浩(横浜市総合リハビリテーションセンター)	会員数: 67名 (20名)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションSIG講習会開催 (時期未定)</li> <li>・SIGホームページの更新など</li> </ul>			
<b>SIG 住まいづくり</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/sumai-sig/">http://www.resja.or.jp/sumai-sig/</a>	代表者: 橋本美芽(首都大学東京) 事務局長: 鈴木基恵(横浜市総合リハビリテーションセンター)	会員数: 107名 (60名)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・復興支援講習会への協力</li> <li>・ホームページリニューアル 検討中</li> </ul>			
<b>特別支援教育SIG</b>		代表者: 松田靖史(川村義肢㈱) 事務局長: 高原光恵(鳴門教育大学)	会員数: 5名 (5名)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職種間の連携推進に関する講習会開催 (時期未定)</li> <li>・復興支援講習会への協力</li> </ul>			
<b>移乗機器SIG</b>	<a href="http://www.reha.kobegakuin.ac.jp/~hp-reha/transfer/index.html">http://www.reha.kobegakuin.ac.jp/~hp-reha/transfer/index.html</a>	代表者: 古田恒輔(神戸学院大学) 事務局長: 青木久美子(宇都記念病院訪問リハビリテーション)	会員数: 131名 (23名)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・移乗機器SIG講習会2017 in 神戸 開催 (2017年8月25日・26日: 神戸学院大学)</li> <li>・復興支援講習会への協力 ・ニュース発行 (2回) ・役員会の開催</li> </ul>			
<b>義肢装具SIG</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/po-sig/">http://www.resja.or.jp/po-sig/</a>	代表者: 水澤二郎(一般財団法人啓成会 啓成会高等職業技術専門学校) 事務局長: 砂野義信	会員数: 143名 (44名)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会開催: 2017年8月25日・26日 義肢装具SIG第13回講習会 株式会社澤村義肢製作所(兵庫県神戸市)</li> <li>・WEBサイト運営</li> </ul>			

2017年度活動計画(期間:2017年7月~2018年6月)

<b>東日本支部</b> (予定)	世話人: 桂律也 吉田泰三 事務局長:
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未定(新区割りでの運営体制の検討)</li> </ul>	
<b>関東・甲信越支部</b> (予定)	支部長: 沖川悦三(神奈川総合リハビリテーションセンター) 事務局長: 村田知之(同左)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未定(新区割りでの運営体制の検討)</li> </ul>	
<b>中部支部</b>	支部長: 渡辺崇史(日本福祉大学) 事務局長: 井村 保(中部学院大学)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未定(新区割りでの運営体制の検討)</li> </ul>	
<b>関西支部</b>	支部長: 黒田大治郎(元・神戸学院大学) 事務局長: 糟谷佐紀(神戸学院大学)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー2018リハ工ブース担当: 2018年4月19-21日 インテックス大阪(大阪市)</li> <li>・セミナー、勉強会: 日時・場所未定</li> <li>・役員会: 日時・場所未定</li> </ul>	
<b>中国・四国支部</b> (予定)	世話人: 下元佳子( 一社) チャールハートワークネットワーク 事務局長:
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未定(新区割りでの運営体制の検討)</li> </ul>	
<b>九州支部</b>	支部長: 松尾清美(佐賀大学) 事務局長: 小林博光(総合せき損センター)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支部会員への情報発信</li> <li>・熊本地震復興支援合同シンポジウム(仮称)(場所未定)</li> <li>・第19回西日本国際福祉機器展リハ工ブースにて福祉機器展示・説明/相談、ブースツアーなど(2017年11月)</li> <li>・RESJA災害対策委員会と当支部による熊本地震復興支援イベントの合同開催(2017年冬期)</li> <li>・webサイト立ち上げ</li> </ul>	

## 1-5. 企画推進事業（企画担当理事／事業統括理事）

協会の広報活動及び会員獲得に向けた PR 活動、公益活動のために以下の展示会出展及び出展社セミナー等の開催を行う。

### 1) 学会展示会、広報活動強化

以下の展示会へブースを設定し、広報活動を実施する。

- ・ H.C.R.2017 での広報（2017年9月27日(水)～9月29日(金) 於：東京ビッグサイト（東京））
- ・ バリアフリー2018（2018年4月19日(木)～21日(土) 於：インテックス大阪（大阪））
- ・ 各地域で行われている福祉機器展への出展（P.P.C.2017、高知福祉機器展、新潟福祉機器展など実施可能な展示会にて広報を行う）。

### 2) セミナー開催

各福祉機器展において出展機会を有効活用し、出展効果の向上とリハ工学に関する普及を促進する目的で、積極的に出展社セミナー・ワークショップを開催していく。

- ・ H.C.R.2017（東京）での出展社ワークショップ等での特別企画等を企画・開催。
- ・ バリアフリー2018（大阪）でのワークショップを企画・開催。関西支部と調整・協力の上、実施する方向で検討する。
- ・ P.P.C.2017（北九州）セミナーの企画・開催。九州支部と調整・協力の上、実施。
- ・ その他の地域で開催される福祉機器展においても、支部・SIG等と協力してセミナーの開催を検討する。

### 3) 復興支援講習会の開催

今後の大災害を見据え、新たな形での復興支援講習会の開催を検討する。運営は災害対策委員会を中心に各 SIG の協力を仰ぎながら企画し、リハ工学の啓発、技術伝承及び災害時の福祉用具や住環境改善の対応等の内容から検討する。

対象者：専門職向けやリハ工学に興味のある方等

開催候補地：未定

### 4) 空港における福祉用具取り扱い講習会の企画・開催

日本身体障害者補助犬学会が学術大会に合わせて実施する航空会社社員向け講習会の協力及び他学会との連携による空港利用者を対象とした講演会の検討・企画・開催。

### 5) 合同シンポジウムの開催

前年度は福岡地区で開催、本年度は8月にリハ工学カンファレンス開催予定の関東地域での開催を検討する。

## 1-6. 国際関連事業（国際担当理事）

### 1) 国際関連団体との相互協定に基づく交流

- ・ リハ工学カンファレンスへの各国代表参加者の参加費負担。
- ・ i-CREAtE、RESKO、TREATS、RESNA 等への RESJA 代表者の参加費負担。
- ・ 支援技術専門家組織連合（AATPO：仮称）への加盟分担金負担。

### 2) 国際連携推進委員会の開催

理事会のもとに、協会の国際連携等についてのアドバイスを行う国際連携推進委員会を設置したので、年に2回程度の開催を予定し、理事会の決定を補佐する。

### 3) 英文パンフレットの作成

英文パンフレットの更新並びに印刷・発行を行う。

## 2. 総務

### 2-1. 規則・選挙関連（規則・選挙担当理事）

各種規程を整備し、改定を必要に応じて行う。

### 2-2. 財務（財務担当理事）

法人会計の管理を行う。

### 2-3. 総会・理事会等会議の開催（総会・理事会担当理事）

#### 1) 理事会開催

年4回、定例の理事会を開催する。開催予定場所は新横浜。開催時期は、2017年7月、11～12月、2018年3月、6月を目安とする。

#### 2) 2017年度総会開催

日時：2017（平成29）年8月23日（水） 11：15～12：15

場所：神戸国際会議場

### 2-4. 広報・渉外（広報・渉外担当理事）

#### 1) 協会ホームページ作成

ホームページ管理委員会を立ち上げ、新たな協会ホームページを構築する。また、新しい区分による支部メールニュースの配信を行う。

#### 2) 協会リーフレット印刷（増刷、英語版印刷）

必要に応じて協会のリーフレットを増刷する。

#### 3) 情報保障の推進

リハ工学カンファレンス、各講習会等において、安定した情報保障の提供をするための準備を進め、必要な配慮の実現へ向けて継続的に取り組んでいく。

### 2-5. 事務局（事務局担当理事）

#### 1) 事務局運営

法人としての事務局を運営し、法人会計の更なる整備を進める。

#### 2) 展示会出展における広報活動

#### 3) ホームページの運営・管理

会員サービスの一環とし、今まで以上のホームページ掲載内容の充実を図り、迅速な対応をめざす。



#### 4) 大規模災害時の協会の対応

大規模災害に対応している他団体との協力体制構築及び被災地調査。

### 3. 後援・協賛事業

後援・協賛予定事業（主催団体と内容）は下記のとおりである。

No.		団体名	開催日程	内容
1	後援	福祉用具プランナー研究ネットワーク	2017/7/9	プラネット第3回研究大会
2	後援	一般社団法人福祉用具活用相談センター	2017/7/18	(一社)福祉用具活用相談センター設立記念セミナー
3	後援	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団	2017/7/28～29	ヨコハマ・ヒューマン&テクノロジー2017
4	協賛	バイオメカニズム学会	2017/8/4～6	第25回バイオメカニズム・シンポジウム
5	後援	一般社団法人日本福祉のまちづくり学会	2017/8/9～11	日本福祉のまちづくり学会 第20回全国大会
6	後援	特定非営利活動法人 バイオフィリア リハビリテーション学会	2017/8/26～27	第21回バイオフィリアリハビリテーション学会大会
7	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2017/9/4～6	ライフエンジニアリング部門シンポジウム2017 (LE2017)
8	協賛	特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会	2017/9/4～7	ヒューマンインタフェースシンポジウム2017
9	後援	一般社団法人日本作業療法士協会	2017/9/22～24	第51回日本作業療法学会
10	後援	一般社団法人日本義肢装具学会	2017/10/8～9	第33回日本義肢装具学会学術大会
11	協賛	バイオメカニズム学会	2017/11/4～5	第38回バイオメカニズム学術講演会
12	後援	NPO法人ケアリフォームシステム研究会	2017/11/18	ケアリフォームシステム研究会 全国大会in広島
13	後援	介助犬のひろば実行委員会	2017/12/3～5	介助犬のひろばin北河内2017
14	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2017/12/20～22	第18回SICEシステムインテグレーション部門講演会

## 第5号議案 2017年度予算計画(案)

## 2017年度予算書

自 2017年7月01日

(単位:円)

至 2018年6月30日

コード	勘定科目	連結予算 (2017年度)	本部会計	カンファレンス 会計	コンテスト 会計	備考
	<入金収入>	55,000	55,000			
1411	入金(今年度分)	55,000	55,000			
1412	入金(前納分)	0	0			
	<会費収入>	7,882,000	7,882,000			
416	一般会費(今年度分)	5,760,000	5,760,000			
1416	一般会費(前納分)	1,176,000	1,176,000			
1417	一般会費(下半期分)	100,000	100,000			
1419	一般会費(過年度分)	80,000	80,000			
1420	学生会費(今年度分)	36,000	36,000			
1422	学生会費(下半期分)	40,000	40,000			
1423	賛助会費(今年度分)	60,000	60,000			
1424	賛助会費(前納分)	630,000	630,000			
	<事業収入>	9,797,000	2,562,000	4,645,000	2,590,000	
421	書籍頒布	110,000	110,000			
422	協会誌広告収入	160,000	160,000			
423	協会誌掲載料	130,000	130,000			
1430	購読サービス会費今年度	110,000	110,000			
1431	購読サービス会費(前納分)	52,000	52,000			
	カンファレンス関係収入	5,145,000	500,000	4,645,000		
425	コンテスト開催協賛金	2,200,000	0		2,200,000	
	コンテスト関係収入	390,000	0		390,000	
426	事業費雑収入	0	0			
429	その他の協賛金	1,500,000	1,500,000			復興支援活動協賛金を含む
	<雑収入>	7,400	7,400			
471	受取利息471	7,400	7,400			
472	雑収入472	0	0			
	【当期収入合計】	17,741,400	10,506,400	4,645,000	2,590,000	
	【収入合計】	17,741,400	10,506,400	4,645,000	2,590,000	
	<事業費支出>	15,027,000	7,792,000	4,645,000	2,590,000	
641	協会誌編集・発行費	3,500,000	3,500,000			
642	カンファレンス開催費	4,645,000	0	4,645,000		
643	カンファレンス次年度準備	500,000	500,000			
644	コンテスト開催経費	2,590,000	0		2,590,000	
646	SIG助成金	100,000	100,000			
647	支部助成金	200,000	200,000			
648	企画推進経費	1,800,000	1,800,000			講習会、セミナー開催、復興支援活動等
649	広報活動費	1,300,000	1,300,000			展示会出展、HPの充実、対外会議出席等
650	専門委員会経費	242,000	242,000			国際委員会、災害対策委員会、JRAT加盟費等
651	理事活動費	150,000	150,000			
	<管理費支出>	3,703,200	3,703,200			
678	公認会計士顧問料	259,200	259,200			
683	会議費	200,000	200,000			
684	事務局交通費	300,000	300,000			
685	通信費(電話)	36,000	36,000			
686	通信費(郵送料)	90,000	90,000			
687	事務用品費	60,000	60,000			
688	送料(運賃)	90,000	90,000			
689	印刷費	180,000	180,000			
692	事務局備品リース料	26,000	26,000			
703	管理委託費	34,000	34,000			
704	事務委託費	720,000	720,000			
705	支払手数料	7,000	7,000			
706	収納代行手数料	170,000	170,000			
707	その他手数料	1,000	1,000			
708	理事会旅費	1,500,000	1,500,000			
1708	役員選挙経費	30,000	30,000			
	<その他の支出>	0	0			
744	公益認定経費他	0	0			
	【当期支出合計】	18,730,200	11,495,200	4,645,000	2,590,000	
	【当期収支差額】	▲ 988,800	▲ 988,800	0	0	

## 第6号議案 新役員の承認

定款第34条により、新役員の承認の審議を行う。

役員候補者選挙により、選出された候補者は以下の通りである（50音順）。

## ＜理事候補＞

- ・石濱 裕規 医療法人社団永生会
- ・江原 喜人 総合せき損センター医用工学研究室
- ・岡野 善記 株式会社766
- ・沖川 悦三 神奈川県総合リハビリテーションセンター
- ・桂 律也 社会医療法人社団三草会クラーク病院
- ・金井 謙介 the Light on Design Project
- ・剣持 悟 川村義肢株式会社
- ・杉本 昌子 パシフィックサプライ株式会社
- ・鈴木 太 愛媛頸髄損傷者連絡会
- ・中村 俊哉 兵庫県立福祉のまちづくり研究所
- ・麩澤 孝 全国頸髄損傷者連絡会
- ・水澤 二郎 一般財団法人啓成会
- ・山形 茂生 コネクト リハビリテーション
- ・吉田 泰三

## ＜監事候補＞

- ・相川 孝訓 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
- ・赤澤 康史 兵庫県立福祉のまちづくり研究所

## ＜会計監査人＞

定款第33条第2項により、会計監査人は設置していないため候補者はなし。

----- 以下、役員選出に関連する規則の抜粋である（2017.8.1現在） -----

## 【定款】

## 第34条

理事及び監事並びに会計監査人は、社員総会の決議によって選任する。

（補足）

（役員の設置等）

第33条 当法人に、次の役員を置く。

（1）理事 11名以上15名以内

（2）監事 2名

2 当法人に、会計監査人を1名おくことができる。

3 理事のうち、1名を代表理事とし、代表理事をもって会長とする。また、1名を副会長とすることができる。

4 理事のうち、若干名を業務執行理事とする。